

明治百年記念展望塔(千葉県立富津公園)

登録基準	2. 都市公園が時代の要請やニーズに応じた役割や、望ましい社会・都市の在り様を具現化・実装化するなど、都市公園が果たしてきた役割・機能を象徴し、一地域にとどまらず複数地域の都市公園で整備された施設		
	施設のテーマ：明治百年記念森林公園		
施設の所在地	千葉県富津市富津2342-13	施設設置年月日	昭和45年（1970年）3月31日
施設整備の経緯	富津公園は、戦後、軍用地であった大部分を国から県が払い下げを受け、昭和26年に都市計画決定し、明治百年記念公園として国（旧建設省）の指定を受け、昭和41年に県内初の広域公園として開設された。展望塔は明治百年記念公園の指定に伴い、記念展望塔として建設された。		
施設の形態的特徴	【特徴】 富津岬の最先端にあり、五葉松をかたどった展望塔で、立体迷路のような形。 【構造】 フロア数36枚（7m×7m）、最上階高21.8m。		
市民とのかかわりや施設利用の特徴等	眺望が良く、東京湾や対岸の景色、房総丘陵を一望できるパノラマビューを楽しめる。 明治から大正まで首都防衛のために造られた第一海堡（だいいちかいほう）・第二海堡（だいにかいほう）や、空気の澄んだ日には富士山をくっきりと観ることができ、夕景も人気の場所。		

【施設写真】

